



いいともあいち運動シンボルマーク

## 地産地消や食育の推進

食と農林水産業に対する県民の理解促進を図るため「いいともあいち運動<sup>※</sup>」を展開して、消費者、生産者などの協働活動の推進や「顔の見える関係」づくりを行い、地産地消<sup>※</sup>を進めます。

農村生活改善関係、食生活改善関係、生活協同組合関係などの広範な分野からリーダー的に活動している方を、「食育推進ボランティア<sup>※</sup>」として育成します。

食育推進ボランティアの活動を通じて、健全な食生活の普及や郷土の食文化の継承など地域に根ざした食育<sup>※</sup>を推進します。

### アクション

# 17

- 消費者、生産者、加工・流通・販売業者などの食品関連事業者、NPOなどの各団体による「いいともあいちネットワーク」の充実を図り、県民活動を促進します。
- ホームページなどを活用し情報の交流を進めます。
- 県内農林水産物を積極的に取り扱う「いいともあいち推進店<sup>※</sup>」の登録を進めます。
- 食育推進ボランティアを育成するとともに、その活動の充実を支援します。



いいともあいち推進店による消費拡大運動

- 県内の児童・生徒を対象に栄養バランスのよい朝食の献立を募集し、食品の衛生に気を付けて実際に自分で調理するコンテストを開催します。
- 栄養教諭<sup>※</sup>の配置拡大を図り、学校における食育の充実を図ります。
- 校内食育推進委員会などの学校における食育を推進する組織の設置を促進します。
- 学校で食育推進の要となる人材を養成するために、教員を対象に学校食育推進者養成講座を開催します。
- 学校給食において、郷土料理などを取り入れ、積極的に地域の産物を活用します。
- 「愛知を食べる学校給食の日」を年3回実施します。



アクション

18

## 学校における食の指導の充実

子どもたちが将来にわたって豊かで健康な生活を築いていけるようにするために、食に関する正しい知識の理解と望ましい食習慣の定着を目指す、学校における食育の充実を図っていきます。

食品表示など食品の品質や安全性などの情報に関心を持ち、食品の品質の良否を見分け、食品に含まれる栄養素やその働きを考えて適切な選択ができるよう子どもたちの食品を選択する能力の育成に努めます。

また、子どもたちが食事の準備や後片付けを安全や衛生に気を付けて行うとともに、食品衛生に気を付けて簡単な調理ができる能力の育成に努めます。

学校給食に身近で安心な地域の産物を積極的に活用するよう推進するとともに、地域の生産者の方を学校に招いて、子どもとの交流を深めたり、米作りなどの体験的な活動に協力いただいたりなどの取組みを推進します。





## 消費者に対する食の安全に関する知識普及

食の安全に対する不安を解消し信頼を回復するためには、食の安全に関する正しい知識の普及が不可欠です。

食の安全に関する情報を積極的に収集し、あらゆる機会を通じて消費者に提供するとともに、県の取組についても積極的に広報するなどして、食品の安全に対する不安の解消を図ります。

- 愛知県のホームページに「食の安全・安心情報サービス※」を開設し、食の安全に関する情報を取りまとめて発信します。
- 保健所などにおいて、消費者啓発事業を実施し、消費者に対する食の安全に関する知識の普及に努めます。

アクション

19



食の安全に関する講習会

- リスクコミュニケーションの一環として、消費者、生産・加工・流通・販売業者及び県の3者を交えた意見交換会の開催やインターネットを通じた情報交換に努めます。
- 食品の製造工場を見学した後、消費者、食品事業者、行政の間で意見交換を行う現地見学型リスクコミュニケーションを実施します。
- 県民の関心の高い食の話題について講習した後に、講師との意見交換を行うセミナーを開催します。
- 地域に密着した食品営業者と地域住民及び保健所との相互理解を深めるため、保健所による意見交換会を開催します。
- 食の安全に関する総合相談窓口※（電話：052-951-4149）を設置し、食の安全に関する相談に一元的に対応します。

アクション

20



現地見学型リスクコミュニケーション

## 食の安全に関する リスクコミュニケーション の推進

一方的な情報提供だけでなく、消費者、生産・加工・流通・販売業者及び県の双方向の対話、いわゆる「リスクコミュニケーション※」による相互理解を深め、信頼関係の構築を図ります。



意見交換会